

第4学年実践

- 1 単元名 説明のしかたを工夫して、3年生にリーフレットでクラブ活動を紹介しよう
教材名 「アップとルーズで伝える」「クラブ活動リーフレットを作ろう」
(光村4年下)

2 単元設定の理由

- 本学級の児童は、国語科の学習について、8割の児童が「好き」「どちらかと言うと好き」と答えており、毎日の音読練習に意欲的に取り組んだり、朝の読書タイムには、黙々と読書したりする姿が見られる。また、学習の中で話し合うことについて、8割の児童が「好き」「どちらかと言うと好き」と答えている。その理由の多くは、「みんなの考えが聞けるから」「自分の考えについて、みんながどう思っているかを知ることができるから」「みんなと話し合うと、学習がよく分かるから」というものである。しかし、その中には、「班の中では自分の考えが伝えられるけれど、みんなの前では苦手」という児童も多く、学習の中で進んで発言する児童は固定化してきており、みんな話し合うことのよさを日々確認しているところである。

1学期「動いて、考えて、また動く」の学習では、事実と考えを読み分け、段落どうしの関係を考えることや、写真や絵、図と文章を対応させて読むことを経験している。「初め」→「中」→「終わり」という説明的文章の構成や段落どうしがどのような関係になっているのかを考えることについては、個人差が大きく、図と文章を対応させるだけでは、本文の内容を理解することが難しい児童もいたため、動作化をしたり、実際に走ってみたりすることで、筆者の説明を具体的に理解することができた。「新聞を作ろう」の学習では、グループごとに話題を決めて取材を進め、タブレットPCで新聞にまとめることを経験している。タブレットPCを活用した学習については、ほとんどの児童が「好き」と答えているだけあって、児童は、読み手に分かりやすい記事を書こうと、文章と写真や絵、図、表を組み合わせたり、見出しを工夫したりと、意欲的に新聞作りに取り組むことができた。しかし、書かれた記事を見ると、写真(絵、図、表)と伝えたい内容が合っていなかったり、写真を用いる目的をあまり考えていなかったりと、十分に吟味して用いているとは言えなかった。また、内容のまとまりごとに段落を分けて書くことも、あまり意識されていなかった。

- 本単元の「アップとルーズで伝える」は、指導事項「Cイ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと」に重点を置いて位置付けられた「読むこと」の基本単元である。サッカーのテレビ中継を通して、「アップ」と「ルーズ」という二つの映像技法の特徴について、写真と文章で対比的に分かりやすく述べられている。写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係をつかんだり、それらを含んだ文章全体の構成をとらえたりすることを通して、筆者の説明のしかたの工夫を考えていくことができる教材である。

「クラブリーフレットを作ろう」は、指導事項「Bイ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を

構成すること」に重点を置いて位置付けられた「書くこと」の基本単元である。「アップとルーズで伝える」の学習を生かしながらリーフレット作りに取り組むことで、児童が情報の送り手の立場を経験できる教材である。2つの教材のつながりを意識することで、より有効な指導を行うことができ、本単元で身に付けた力を、他教科や他領域の学習の中でも生かすことができると考える。

- 指導にあたっては、第一次で「説明のしかたを工夫して、3年生にリーフレットでクラブ活動を紹介しよう」という単元を貫く言語活動を設定する。最初に、教師自作のリーフレットを提示して学習のゴールを示すことで、児童の相手意識や目的意識が明確となり、分かりやすく説明する文章を書くために、主体的に教材文を読んだり、見通しをもってリーフレット作りに取り組んだりすることができるようにする。

第二次では、教材文「アップとルーズで伝える」を読み、筆者の説明のしかたの工夫を見付けることができるように、以下の手立てをとる。

- ① 写真を説明している段落を見付けることで、写真と文章の対応に気を付けて読むことができるようにする。
- ② 「アップ」と「ルーズ」の「伝えられること」に赤、「伝えられないこと」に青で線を引くことで、それぞれの特徴をとらえることができるようにする。
- ③ 教材文を一枚に全文掲示して、同じ書き方をしている段落や部分を見つけることで、段落どうしだけではなく、段落の中でも対比関係が用いられていることを、視覚的にとらえることができるようにする。
- ④ 段落ごとに小見出しを付け、それらがどんな関係にあるのかを考えることで、文章全体の構成をとらえることができるようにする。
- ⑤ 毎時間、筆者の説明のしかたの工夫を振り返り、自分のリーフレット作りに生かせそうな点をまとめることで、筆者の説明のしかたの工夫をとらえることができるようにする。

本時では、新聞記事と写真を対応させて読みながら、記事を作った人の意図に合った写真を考えることを通して、新聞の中でも、「アップ」と「ルーズ」が、目的に合わせて使い分けられていることに気付くことができるようにする。その際には、グループでの話し合いを取り入れ、話し合いの観点を示し、タブレット PC を活用することで、児童の発言意欲を高め、スムーズに話し合いを進めることができるようにする。

第三次では、振り返りの中でまとめてきた説明のしかたの工夫を生かしたり、教科書の例文を参考にしたりしながら説明文をまとめ、目的に合わせた写真を選んで、リーフレットを仕上げるようにする。また、友達と読み合い、感想を伝え合うことで、よりよい作品にすることができるようにする。最後に、3年生にリーフレットを紹介したり、単元の学習を振り返って感想を交流したりして、単元のまとめとする。

| | |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語への 関心・意欲・態度 | ○写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとする。 ○分かりやすく説明するために、写真を選んだり、文章を書いたりしようとする。 |
| 書く能力 | ◎書こうとしていることの内容を明確にして、写真と文章を対応させながら、段落相互の關係に注意して文章を書くことができる。 ○書こうとすることの内容を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くことができる。 |
| 読む能力 | ◎それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。 ○写真と対応した部分に注意して読み、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴を整理することができる。 |
| 言語についての 知識・理解・技能 | ○文章の中での、それぞれの段落の役割を理解することができる。 ○句読点を適切に打ち、段落の始めなど必要な箇所は行を改めることができる。 |

4 指導計画（総時数 17 時間）

| 次 | ねらい | 主な学習計画・内容 | 評価規準 (主な評価方法) |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 1 (1) | ○ 教材文を読んだり、教師自作のリーフレットを見て、気が付いたことを出し合ったりすることを通して、筆者の説明のしかたの工夫やリーフレット作りに関心をもつことができるようにする。 | 1 教材文を読んだり、教師自作のリーフレットを見て、気が付いたことを出し合ったりする。 「説明のしかたを工夫して、3年生にリーフレットでクラブ活動を伝えよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 | 【関】 筆者の説明のしかたの工夫やリーフレット作りに関心をもっている。 (行動・発言分析) |
| 2 (1) | ○ 写真と文章を対応させながら読むことを通して、段落相互の關係をつかみ、筆者の説明のしかたの工夫を見付けることができるようにする。 | 2 筆者の説明のしかたの工夫を考えながら読む。 ・ P 34～35の写真について、それぞれ説明している段落を見付ける。 ・ 第1段落と第2段落は、第3段落とどのような關係があるのかを考える。 | 【読】 写真と文章の対応關係や段落相互の關係を理解している。 (ノート・発言分析) |

| | | | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (2) | <p>○ 写真と文章を対応させながら読むことを通して、段落相互の関係をつかみ、筆者の説明のしかたの工夫を見付けることができるようにする。</p> | <p>3 筆者の説明のしかたの工夫を考えながら読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 36～37の写真について、それぞれ説明している段落を見付ける。 ・「しかし」「でも」に着目して、「アップ」と「ルーズ」が伝えられることと伝えられないことをまとめる。 ・「このように」は、どの段落の内容をまとめたものかを考える。 | <p>【読】写真と文章の対応関係や段落相互の関係を理解している。</p> <p>(ノート・発言分析)</p> <p>【言】指示語や接続語が、文や段落の関係を示す手がかりになることを理解している。</p> <p>(ノート・発言分析)</p> |
| (3) | <p>○ 段落のまとまりに小見出しを付け、それらがどんな関係にあるのかを考えることを通して、文章全体の組み立てをつかむことができるようにする。</p> | <p>4 筆者の説明のしかたの工夫を考えながら読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7段落と第8段落は、それまでの段落とどのような関係でつながっているのかを考える。 ・段落のまとまりに小見出しを付け、段落どうしの関係を考えながら、文章全体を3つのまとまりに分ける。 | <p>【読】それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかをとらえ、文章全体の組み立てをつかんでいる。</p> <p>(ノート・発言分析)</p> |
| (4) | <p>○ 写真と文章を対応させながら読むことを通して、筆者の説明のしかたの工夫についてまとめることができるようにする。</p> | <p>5 筆者の説明のしかたの工夫についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4段落と第5段落のように、対比して書いている段落を他にも見付ける。 ・対比して説明していることで、どのようなことが分かりやすくなっているのかを考える。 | <p>【読】写真との対応関係や段落相互の関係、文章全体の組み立てをとらえ直し、筆者の説明のしかたの工夫についてまとめている。</p> <p>(発言・ノート分析)</p> |
| (5) 本時 | <p>○ 新聞記事と写真を対応させて読みながら、記事を作った人の意図に合った写真を考えることを通して、新聞の中でも、「アップ」と「ルーズ」が目的に合わせて使い分けられている</p> | <p>6 新聞の中で、記事を作った人が、「アップ」と「ルーズ」の写真をどのように使っているのかを調べる。</p> | <p>【読】新聞記事と写真を対応させて読みながら、記事を作った人の意図に合った写真を考え、新聞の中でも、「アップ」と「ルーズ」が目的に合わせて使い分</p> |

| | | | |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| | <p>ことに気付くことができる。</p> | | <p>けられていることに気付いている。 (ノート・発言分析)</p> |
| 3 (1) | <p>○ クラブ活動について振り返り、そのよさを話し合うことを通して、3年生に説明する内容を考えることができる。</p> | <p>7 写真と文章で構成した「クラブ活動リーフレット」を作る。 ・3年生に説明する内容を考える。</p> | <p>【書】 3年生に説明する内容を考えている。 (ノート・発言分析)</p> |
| (2) (3) | <p>○ 教科書の例を参考にしながら構成メモを作ることを通して、文章の組み立てを考えることができる。</p> <p>○ 振り返りの中でまとめてきた説明のしかたの工夫や教科書の例文を参考にして、説明のしかたや写真の使い方の工夫について話し合うことを通して、自分の文章に生かすことができるようにする。</p> | <p>8・9 ・文章の組み立てを考える。</p> | <p>【書】「初め」「中」「終わり」の構成で、文章の組み立てを考えている。 (ノート分析)</p> |
| (4) | <p>○ 計画メモを作ることを通して、どんな写真を撮影するかについて考えることができるようにする。</p> | <p>10 ・説明する内容に合わせて、写真撮影の計画メモを作る。</p> <p>～クラブ活動時 写真撮影～</p> | <p>【書】 説明する内容に合わせて、計画メモを書いている。 (メモ分析)</p> |
| (5) (6) | <p>○ 振り返りの中でまとめてきた説明のしかたの工夫や教科書の例文、構成メモを参考にすることを通して、写真と文章を対応させながら、伝えたいことを明確にして書くことができるようにする。</p> | <p>11.12 ・説明する文章を書く。</p> | <p>【書】 写真と文章を対応させながら、伝えたいことを明確にして書いている。 (ワークシート分析)</p> |

| | | | |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| (7) (8) | ○ 観点をもとに文章を読み合い、感想を伝え合うことを通して、よりよい文章にすることができるようにする。 | 13.14 ・観点をもとに文章を読み合い、感想を伝え合う。 | 【書】 友達のリーフレットを読んで、よさや改善点を見つけ、伝えている。 (発言分析) |
| (9) (10) | ○ 教科書の例や教師自作、実際のリーフレットを参考にしながら、レイアウトの工夫を話し合うことを通して、自分の作品に生かしながら、リーフレットを仕上げることができる。 | 15.16 ・リーフレットを仕上げる。 | 【書】 正しい句読点を打ったり、必要な個所は改行したりして、文章を書いている。 【書】 レイアウトを工夫して、リーフレットを仕上げている。 (作品分析) |
| (11) | ○ 3年生に感想を聞いたり、単元の学習を振り返って感想を交流したりすることを通して、身に付けた力を他教科に生かそうという意欲をもつことができるようにする。 | 17 3年生に感想を聞いたり、学習を振り返って感想を交流したりして、単元のまとめをする。 | 【関】 身に付けた力を他教科に生かそうという意欲をもっている。 (行動・発言分析) |

5 ICT 活用について

(1) 本時における ICT 活用場面

| | 活用場面 | 活用方法・ポイント | 期待される子どもの姿・力 |
|---|----------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 1 | 自分の考えをまとめる場面 | グループごとに指定された記事と写真を開き、一人一人がタブレット PC を使って読む。 | タブレット PC を使って読みながら、自分の考えをまとめることができる。 |
| 2 | お互いの考えをグループで交流する場面 | グループでタブレット PC を使って交流する。 | グループでタブレット PC を見ながら交流を進め、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。 |
| 3 | グループで交流したことを、別のグループに報告する場面 | タブレット PC を使って、グループで交流したことを、別のグループ | 「アップ」の記事について交流したグループと、「ルーズ」の記事つい |

| | | | |
|--|--|--------|-------------------------------------------------|
| | | に報告する。 | て交流したグループが、お互いの記事について報告し合い、2つの記事を全員で共有することができる。 |
|--|--|--------|-------------------------------------------------|

6 本時学習

(1)日時 平成27年11月10日(火) 5校時 於：4学年1組教室

(2)主眼 新聞記事と写真を対応させて読みながら、記事を作った人の意図に合った写真を考えることを通して、新聞の中でも、「アップ」と「ルーズ」が目的に合わせて使い分けられていることに気付くことができる。

(3)準備 教師：新聞記事資料(タブレット PC用 黒板掲示用)
児童：タブレット PC

(4)展開

| 学習活動 | 指導・支援上の留意点 | 評価規準 (主な評価方法) |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 | ○ 学習計画を確認し、本時の学習の見通しを持つことができるようにする。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>めあて 新聞の中で、記事を作った人が、「アップ」と「ルーズ」の写真をどのように使っているのかを調べよう。</p> </div> | | |
| 2 新聞記事と2枚の写真を対応させながら読み、どちらの写真が使われているのかを考える。 | <p>○ 教材文のキーワードを掲示し、「アップ」と「ルーズ」の特徴について、確認することができるようにする。</p> <p>アップ 細かい部分の様子がよく分かる</p> <p>ルーズ 広いはんいの様子がよく分かる</p> <p>○ グループごとに指定された記事と写真を開かせ、一人一人がタブ</p> | |

レット PC を使って読みながら、自分の考えをノートにまとめることができるようにする。

【活用場面① タブレット PC】

○ 記事の中で、写真の様子を表している部分に線を引かせ、写真と文章を対応させて読むことができるようにする。

○ モデル文を示し、記事を引用しながら、自分の考えをまとめることができるようにする。

～モデル文～

この記事には、**アップ** または **ルーズ** の写真が使われていると思います。理由は、**記事を引用** と書いてあるので、**細かい部分の様子** または **広いはんいの様子** がよく分かる写真の方がよいからです。

3 グループごとに、お互いの考えを交流する。

○ グループでタブレット PC を使い、ノートにまとめた2つの観点をもとに交流を進めることで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようにする

【活用場面② タブレット PC】

観点

- ・ 「アップ」と「ルーズ」のどちらの写真が使われていると思うのか。
- ・ その理由

○ 交流が終わった後に時間を設け、もう一度自分の考えを再構成することができるようにする。

4 グループで交流したことを、別のグループに報告

○ 「アップ」の記事について交流したグループと、「ルーズ」の記事

| | | |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>する。</p> <p>5 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p> | <p>ついて交流したグループが、それぞれの記事について報告し合い、2つの記事を全員で共有することができるようにする。</p> <p>【活用場面③ タブレットPC】</p> <p>○ 自分のリーフレット作りに生かせそうという観点から振り返りを行う。その中で「アップ」と「ルーズ」の使い分けについて触れている児童を意図的に指名することで、新聞の中でも、「アップ」と「ルーズ」が目的に合わせて使い分けられていることを確認することができるようにする。</p> <p>○ 次時からはパンフレットを作ろうと投げかけることで、次時の学習に見通しをもつことができるようにする。</p> | <p>【読】新聞記事と写真を対応させて読みながら、記事を作った人の意図に合った写真を考え、「アップ」と「ルーズ」が目的に合わせて使い分けられていることに気付いている。</p> <p>(ノート・発言分析)</p> |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|

7 指導の実際

| 学習活動 | 指導の実際 |
|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。</p> | <p>T: 昨日までは、筆者の説明の仕方の工夫について学習してきました。今日の学習は、学習計画の「新聞の中で、『アップ』と『ルーズ』がどのように使われているかを調べる」です。</p> |
| <p>めあて</p> <p>新聞の中で、記事を作った人が、「アップ」と「ルーズ」の写真をどのように使っているのかを調べよう。</p> | |
| <p>2 新聞記事と2枚の写真を対応させながら読み、どちらの写真が使われているのかを考える。</p> <p>グループごとに指定された記事と写真を開かせ、</p> | <p>T: 記事と写真が2枚入っています。記事にぴったりの写真はどちらでしょう。</p> <p>T: 記事の様子がわかるところに、線を引きましょう。</p> <p>C: タブレットPCに線を引き、アップかルーズの写真を選ぶ。</p> <p>T: 今から自分の考えをまとめていきます。「この記事に合う写真は、この写真です。」ということが分かるようにまとめましょう。書き方がよく分からなければ、モデル文を貼</p> |

一人一人がタブレット PC を使って読みながら、自分の考えをノートにまとめることができるようにする。

【活用場面① タブレット PC】

3 グループごとに、お互いの考えを交流する。

グループでタブレット PC を使い、ノートにまとめた2つの観点をもとに交流を進めることで、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。

【活用場面② タブレット PC】

っておくので、参考にしてください。

C：ノートに記事を引用しながら、自分の考えをまとめていく。

T：①アップとルーズのどちらの写真が使われていると思うのか。②その理由、の2つの視点で交流します。自分の考えと比べながら聞いてください。

C1：私はルーズが使われていると思います。「赤や黄色、オレンジ……。木々の葉が、色を競い合っています。」と書いてあり、広い範囲の様子がよく分かるのでこの写真にしました。

C3：私は、ルーズだと思います。理由は「赤や黄色、オレンジ……。木々の葉が、色を競い合っています。」と書いてあるから、広い範囲の写真の様子がよく分かるからです。もし、アップだったら、赤・黄・オレンジが分からないからです。

C2：C3さんの意見に・・・記事には「湖や空の青色とのコントラストがとってもきれい」と書いているけど、この写真には（アップ）湖や青い空が分からないよね。（と言いながら、自分のタブレット PC の記事の「湖…」の部分に線を引き出す。）

C4：僕もルーズの写真だと思います。理由は、「赤や黄色、オレンジ……。木々の葉が、色を競い合っています。」と書いているから、広い範囲の様子を表していると思ったからです。もし、（写真を入れ換えて）アップだったら、空の青



【タブレット PC に線を引き、自分の考えをまとめる】



【児童全員の進捗状況を一覧表示する】



【タブレット PC を使用して交流する】

と湖のコントラストが分からないからです。

C1:「だから、ルーズを選びました。」という言葉をつけたらいいと思います。

T:交流が終わったら、自分の考えをまとめ直してよいです。

C1:コントラスト…という言葉を増やす。

T:実は、今日は2種類の記事について、話し合ってもらっています。1、2、3班は、4、5、6班の記事が分かりませんね。お互い交流して、報告しましょう。

(移動)

C:僕は、アップだと思います。理由は、この2つの写真を見てください。「防災訓練があり、子どもたちが真剣な表情で取り組んでいました。」と書いているから、細かい部分の様子がよく分かるからです。もし、ルーズだったら、子どもの真剣な表情が分からないからです。



【タブレット PC を使用して別のグループと交流する】

C3:(メモをとっている。)

T:メモができましたか。それでは、交代します。

C3:私は、ルーズだと思います。理由は「赤や黄色、オレンジ……。木々の葉が、色を競い合っています。」と書いてあるから、広い範囲の写真の様子がよく分かるからです。もし、アップだったら、赤・黄・オレンジが分からないからです。

C:(メモをとりながら、C3のタブレット PCを確認したり、C3に確認したりしていた)

T:それぞれの班で交流も終わったことなので、自分たちの班で交流したことを全体で発表してください。まず、「防災の日」の記事は？

C:僕は、アップだと思います。理由は、「子どもたちが真剣な表情で取り組んでいました。」と書いているから、細かい部分の様子がよく分かるからです。もし、ルーズだったら、子どもの真剣な表情が分からないからです。

T:違うところに線を引いている人はいませんか？こちらの方が細かい表情がよく分かるんですね。では、「紅葉シーズ

4 グループで交流したことを、別のグループに報告する。

「アップ」の記事について交流したグループと、「ルーズ」の記事について交流したグループが、それぞれの記事について報告し合い、2つの記事を全員で共有することができるようにする。

【活用場面③ タブレット PC】

(全体で、2つの記事の内容に合う写真や理由を発表する。)

ン」の方は、どうですか。

C5：この記事には、ルーズが合っています。理由は、「赤や黄色、オレンジ……。木々の葉が、色を競い合っています。」と書いているので、(電子黒板を示し)このようにいろんな色が競い合っている広い範囲のこの写真の方が合っていると思います。もし、アップだったら、沢山の色が競い合っている様子が分からないから、ルーズの方がいいと思いました。



【電子黒板を使って、グループでの交流を報告する】

C：C5さんと一緒に、ルーズの方が合っていると思います。「赤や黄色、オレンジ……。木々の葉が、色を競い合っています。」と書いているのに、アップだと、赤しか見えない。オレンジや黄色がないから、競い合っているか分からないからです。

T：H君。(指名して)

C2：僕はルーズだと思います。

T：前の人とつなげて発言して。

C2：僕もC5さんと同じルーズが合うと思います。「湖や空の青色とのコントラストがとってもきれい」と書いているけど、アップだと湖や空の青色のコントラストが分からないからです。

T：この辺やこの辺ですね。コントラストってわかりますか。

C：対比。

T：こちらには、ルーズの写真が使われていました。

5 本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。

T：記事を作った人はアップとルーズをどのように使い分けていましたか。

C：自分の一番伝えたいことに合わせて、写真を使い分けていました。

T：まとめを書きます。

まとめ

記事を作った人は、伝えたい内容に合わせてアップとルーズの写真を使い分けている。

8 成果と課題

(1) 成果

【着眼点1】について

まず、活用場面1では、グループごとに指定された記事と写真を開かせ、一人一人がタブレットPCを使って読みながら、自分の考えをノートにまとめた。本来なら、記事と2枚の写真を印刷したプリントを配布しなければならず、児童は、プリント数枚とノートの間で視線を動かしながら、自分の考えをまとめなければならない。低位の子ども達にとっては、見なければならないものがたくさんあると、どこを見たらよいのかが分からず、それだけでハードルが高くなる。しかし、タブレットPCに全て配信することで、児童の視線は、タブレットPCとノートの間だけと少なくなり、低位の子ども達もじっくり考え、自分の考えをノートにまとめることができた。

次に、活用場面2・3では、グループでタブレットPCを使い、ノートにまとめた2つの観点をもとに交流を進めた。児童のアンケートから、『自分の考えを伝える時に、タブレットPCを使った方がよいと思いますか?』に対して、9割の子ども達が、「とてもそう思う」「そう思う」と答えている。その理由として、『簡単に記事や写真が切り替えられるし、説明しながらでも線が引きやすく、説明がしやすいから』『写真をアップにしたら分かりやすいし、線が自由に引けたり、丸もかけたりするから』というものが多かった。また、普段、発言に消極的な児童からも、『文や絵にかきこめるから、説明するのがやりやすかった』という声が挙がった。



【タブレットPCの写真に描き込み(丸)をしながら、自分の考えを説明する様子】

【着眼点2】について

グループでの交流の場面では、友達の考えを聞いて、自分の考えを再構成する時間を確保した。指導の実際の下線部の児童の発言から分かるように、紅葉

葉の記事について交流したグループでは、最初は、『赤や黄色、オレンジ・・・木々の葉が、色を競い合っています。』と木々の色にしか注目していない児童の発言が続く中、『湖や空の青色とのコントラスト』に気付いている児童の発言があった。その友達の考えを自分のノートに書き加える児童がおり、自分の考えを広げたり、深めたりしながら、理解を深める児童の姿が見られた。

また、自分の考えをまとめる時に、記事に線を引いており、友達の考えを聞く時にもその画面を見ながら、友達がどこに線を引いたのか、考えの根拠となる部分が一目で分かり、説明が分かりやすかったという児童の声が多く聞かれた。

2 友達に自分の考えを伝える時に、タブレットPCが使用したほうがよいと思いますか？

とてもそう思う そう思う あまり思わない 思わない

それは、なぜですか？

アップにしたら分かりやすいから。線を自由にひけたり直線もひけるし、丸もかけるから。自分の伝えたいことがよく伝わるから。自分の思い通りに画面をすく変えられるから。

2 友達に自分の考えを伝える時に、タブレットPCが使用したほうがよいと思いますか？

とてもそう思う そう思う あまり思わない 思わない

それは、なぜですか？

文や絵にかきこめるから、説明するのがやりやすくなる。

【児童アンケート】



【電子黒板活用の場面と板書】

【着眼点3】について

全体で、2つの記事の内容に合う写真やその理由を確認する際に、電子黒板を活用した。グループで交流した後、それを別のグループに報告していたので、どのグループも2つの記事について、ある程度共有することができていたが、児童一人一人の伝え方には差があることから、全体で再度確認することで、理解を深めることができた。

黒板には、記事と2枚の写真、アップとルーズのどちらの写真が使われているのか、について、児童の発言に合わせて掲示物を使いながら、1時間の授業の内容が分かるように、板書することができた。

(2) 課題

【着眼点2】について

自分の考えをなかなか表現できない（まとめられない）児童もいるため、考えをまとめる際に、モデル文を提示した。グループでの交流の場面でも、このモデル文を使って、友達に自分の考えを伝える姿が見られた。低位の児童にとっては、非常に有効な手立てであったが、他の児童も安易にモデル文を使ってしまったので、交流での表現が画一的になってしまい、自分の言葉で、豊かにはいかず、友達の考えを聞いて自分の考えを広げたり、深めたりという部分では課題が残った。

また、一人に一台タブレットPCを使用させたことで、友達に考えを伝える時に、相手を見ずにタブレットPCに釘付けになってしまったり、友達の考えを聞く時に、タブレットPCが気になって思わず触ってしまったりと、対話の指導で基本的なことがおろそかになってしまった。

【着眼点3】について

教師が、児童の話し合いのコーディネーター役をしながら、キーワードも板書できるように、予め掲示物を準備したり、児童にタブレットPCを操作させたりと、工夫を重ねたが、それでも最低限の板書しかできず、更なる工夫が必要だと感じた。